



1911 Hupmobile モデル 20 C



製造情報

製造商	Hupmobile
組付工場	デトロイト、ミシガン(ピケの近く)
モデル生産量	不明
総生産量	6,079
馬力	20
重量	1,200ポンド/ 544キログラム
当時売価	\$750

イノベーション(ポイントのみ)

クラッチを使わずに「フリーホイーリング」と呼ばれたギアをシフト装置を採用。

第26歩兵師団より採用され、初めてアメリカの軍隊に入る

1911年のHupmobileは48,600マイル、18ヶ月の26ヶ国で運転された

素晴らしい出演者と売り手

ロバート・ホップは、自身の会社、ホップ自動車会社を設立する前にオズモビル、リーガル、フォードに勤めていました。ホップはまた合理的な性能を備えた軽量で手頃な価格の車を生産することを夢見ていました。最初のHupmobile 2人乗り運転は、4気筒の20馬力エンジンとマグネトイグニッションを特長としていました。しかし、「T」とは異なり、小さなホップはスライディングギアの伝達を誇っていました。売価は非常に合理的な\$ 750で販売されました。生産は、1909年の1,618台から1913年の12,543台まで着実に増加した。1911年、スポーティな20Cが導入され、ロバート・ホップは経営陣との喧嘩があって退社しました。ホップがデパーチャーした直後に、より大きくより強力な車が市場に出す。モデル20Cは1913年まで継続された。

ミシガン州ウェストランドのジョンとドロシーグレースから貸出中。